

## 市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成27年7月9日(木)午後7時30分～9時
会場	栄町公民館
地域座談会の内容(意見交換等の内容等)	
<p>① 市債残高について少しずつ返済しているようだが、なるべく債務はなくして欲しい。</p> <p>→ 市債については、現在の市民だけの負担でなく、将来にわたって利益を受ける人も含めて公平に負担するための制度ですが、ご意見につきましては参考とさせていただきます。</p> <p>② 5月に実施する植栽について、昨年も今年もポーチユラカを配付されているが、街路樹のイチョウの根元に植えても育たない。公園のプランターに植えたものは、土を入れ換えているのでうまく育つ。道路沿いの街路樹の下ではうまく咲かないとすると、土を入れ換えるか、花の種類を変えてもらうなどしてほしい。</p> <p>→ ポーチユラカ、あまり目立たない花のようですが、来年に向けて検討させてください。土を足すとか方法があるかもしれません。</p> <p>③ 除雪について要望したい。きれいに掃いて欲しい。日当たりが悪く狭い箇所は、雪がデコボコに硬くなると自分たちでは難しい。轍になってしまう。 1回だけでなく2回掃いてもらうなどしてもらいたい。</p> <p>→ 除雪協力会の業者の方をお願いしているが、そういった話があった旨を伝えていきたい。</p> <p>④ LEDの防犯街路灯の申請をしたが、LEDは、最初だけ市で購入してもらうが、次回の更新は町会負担となる。1基あたり3万円くらいするとすれば、一斉に交換する際に、町会の負担が大きい。その際の助成などはないのか。去年・今年・来年の3カ年で全灯交換する予定です。</p> <p>→ 町会によっては、先の事を考えて、LEDの交換の申請を少しずつしているところもあるようです。 LEDの寿命が10年程度なので、その時はLEDの値段も安くなっていると</p>	

思われますが、10年先の補助については今はまだ考えていません。

もともとは、座談会の中で、自治会の予算の1/3以上が電気代にとられるので何とかして欲しいということから、LEDへの切り替えを始めました。電気代も半分くらいなら、その分を貯金してもらい備えてもらう事も出来るのでは。

まずは、10年後の時に検討をしていきたい。

#### ⑤ 公民館の耐震工事について

市長：ここの公民館は、耐震の簡易診断をしましたか。

町会長：簡易診断は終わっているが、公民館長が市へ打ち合わせに行っている。工事をするには、本調査（精密診断）が必要であり、予算の関係で来年になるのではと思っている。

市長：本当は、今年やりたかったのですか。

町会長：避難所になるはずの公民館が、一般家屋より危険な状態ではまずい。耐震化工事を行い、また、自主防災組織づくりも一緒にやっていければと思う。

市長：要望を出していただければ9月に補正もして対応するなど、整備を早めるのに反対する人はいないのではないのでしょうか。

町会長：7月12日に公民館の会議があるので、その際に話をしてみたい。

市長：是非、今年度中に整備したいのであれば、我々も考えます。

#### ⑥ 最上川の堤防が想定外の雨が降った場合について

→ 国土交通省によると南部地区も危険エリアになっているとのこと。グリバーさがえのところの堤防に鉄板が打ってあります。全部ではありませんが、これからは南に向かって伸ばしていくとのこと。来年くらいまでかかるようです。

#### ⑦ 除雪について、尾花沢に40年ほど通っているが、かつては住民が、川に雪を捨てて、13号線に水が溢れ川みたいになり、通行止めになったりもした。今では融雪溝を利用するようになり、見違えるような道路状態になっている。寒河江市でも、融雪溝について検討してはどうか。

→ 融雪溝に流す場合は、水利権の利用を解決するのが課題となっています。尾花沢では、うまく解決して導入となっていると思いますが、寒河江市の場合、全部がそうする必要があるのかどうか雪の量もあり検討しなければなりません。消雪道路が一時期はやりましたが、地域によっては考えていかなければなりません。維持費もかかるので、それよりは除雪をした方が経費がかからないという事ではやらなくなったとも考えられます。水の問題を解決し、融雪溝などの問題をクリアして、必要性が高い地域をモデル的にやることもあるのではと思います。また、融雪溝にしても、地域の人から出ていただかないと効果は発揮しないと思われます。また、村山市では、お年寄りや一人暮らしの家の前には雪を置かないなどのやさしい除雪、丁寧な除雪をやっていきます。寒河江市でも今年の冬あ

たりから、実験的にモデル地域などですすめていかなければと思っているところ  
です。

**⑧ 森岡鉄砲店から高速道路の方に向かう道路にあるスノーポールが壊れていたり、縮んでいなかったりしている。**

→ 明日にでも現場に行って対応させます。

**⑨ 子育て支援医療給付事業について、高校3年生まで拡大してはどうか。**

→ 県内の市町村はすべて中学3年生まで拡大されていますが、高校3年生まで支援しているのは遊佐町がやっているようです。医療費の無料化は、若い子育て世代を支援していくと言う考えで進めてきました。先日、全国の市町村長の代表が安倍首相には医療費の無料化を国の制度として取り組んで欲しいと要望をしています。拡大をするのもいいが、それよりは、保育料を安くする方法とかもあるのでは。色々考えますが、中学3年生は一つの区切り。どちらかという、小さい子どもが病気にかかり易く、すぐ悪化します。高校生は大人と同じような体力がついているのでそんなに医者にかかることもないのではないのでしょうか。

**⑩ 高校生は義務教育のようなもの。実際は、あまり医者にかからないので予算はそんなに必要ではないかもしれない。**

→ 実際は、高校よりも上の年代に金がかかるのでは。返済しなければならない奨学金を借りる学生も多く、親御さんも大変だと聞きます。何らかの支援を考えていかなければならないと考えます。

**⑪ 昨年、後期高齢者となり運転免許を返還した。バスを利用すると不便。西川町、河北町に行くにしても、市内の慈恩寺に行くにしても不便。山形市では市内循環バスがあり便利。寒河江市でも1時間に1本位の循環バスが実現できないか。**

→ 現在、バスの通っていない地域にはデマンドタクシーを運行していますが、それとは別に、平成27年度に「市民交通対策事業」として予算化しています。デマンドタクシーの運行地域以外の交通不便地域についても、何とか循環バスのようなものを年内に試験運行できるように取り組みたいと考えています。今、ルートとか、バス型かワゴン型かなどについて検討しているところです。